

建設創造実験実習の合宿（地域環境マネジメントスタディーズ）

3年生の授業、建設創造実験実習はスタディーズごとに行います。地域環境マネジメントスタディーズでは、地域課題の探求、解決方法を考えることを目的として、毎年、上勝町の「高丸山千年の森ふれあい館」で合宿研修を行っています。

2010年度は6月12、13日にかけておこなわれました。

1日目の午前は、地域の実情について知るため、ふれあい館での取り組み、高丸山の管理についてなどの講義です。



1日目午前の講義の様子

続いて、昼からは「森林保全チーム」「環境教育チーム」「景観発信チーム」にわかれて実習を行いました。

森林保全チームは高丸山に入り、シカの糞粒調査、毎木調査などを行います。毎年データを取り、森林の変化などを把握するための基礎資料としています。

環境教育チームは、今年は地産地消の環境教育プログラムづくりです。シカ肉ソーセージや地場産野菜などを用いたピザをつくり試食、2日目はそれをもとに体験プログラムの作成をおこないました。

景観発信チームは、地域の魅力を再発見・発信するため、地域の風景を写真にとってそれにつける言葉を考えました。後日、大学にもどってから言葉を決定し、データ作成、印刷を経て一枚一枚手作りでかるたを完成させました。



シカ肉ソーセージづくり



かるたづくり：昨年のかると今年撮影した写真をみながら言葉を考える



高丸山での毎木調査：ロープでマス（コードラート）をつくり、調査します。



ヒアリング：2日目の午前、檜原の棚田を見学し、保全活動をされている方にヒアリングをしました。



バーベキュー：毎年、晩ご飯はバーベキューを楽しみます。